

第23回 通常社員総会

議案書

月 日 令和6(2024)年5月31日(金)
場 所 札幌市民ホール(カナモトホール)
時 間 13時30分～



認定NPO法人 シーズネット

総 会 次 第

1. 開 会

2. 資格審査報告

3. 議長選出

4. 議事録署名人選出

5. 議 事

第1号議案 令和5(2023)年度事業報告について…………… 2P～7P

第2号議案 令和5(2023)年度決算報告について…………… 8P～11P

第3号議案 令和5(2023)年度監査報告について…………… 12P

第4号議案 令和6(2024)年度事業計画書(案)について…………… 13P～15P

第5号議案 令和6(2024)年度活動予算書(案)について…………… 16P

6. その他

7. 閉 会

令和5(2023)年度事業報告書

(令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日)

※【新】は新規事業、【追】は追加事業、「【再開】」はコロナ後の再開事業

1. 理念・方針

理念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する。
方針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動強化等を重点的に取り組む。

2. 特定非営利活動に係る活動

◆理念を啓発する活動

事業名		事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目		
目的に沿った各種講演会、講習会、研究会等の開催事業	【再開】知恵袋講座の充実	コロナ禍も落ち着いたことから、今年度から毎月開催します。できるだけ会員が講師を引き受ける講座を増やして行きます。	月1回実施。総参加者数72名。会員講師は1名のため次年度は会員講師を増やします。
	住いの情報セミナー開催	住いのセミナー(札幌市住宅管理公社受託事業)を引き続き開催します。	年4回の計画通り実施しました。 6/27 安全な住まいいつまでも健康な暮らしを 9/20 後悔しないための高齢者住宅の選び方 12/6 捨てない片付けでスッキリ身軽に 2/20 大事な終活 身の回りの整理あれこれ
	【再開】シニアの暮らしアドバイス講座開催	講座をシリーズで行い、介護保険、住まいなどの勉強会を開催します。	7月から9月にかけてハイブリッド形式で3回実施しました。参加申込者は各回14名(内WEB参加者3名)でした。
	【再開】市民公開講座開催	シーズネットの理念の啓発・浸透を目指す講座を年1回程度開設します。	2/28札幌エルプラザにダンディ柴田さんを迎え「若々しくいられるお笑いの処方箋」と参加型講演会を有料開催。参加者は62名でした。
	地域ささえ愛サミット2023協力(北海道住宅管理公社主催)	公的住宅等の共通の課題である孤立防止に向けてのサロン発表や展示等の運営に協力します。	11/25札幌エルプラザで「毎日を元気で楽しく暮らすために」のスローガンでサロン3団体を中心に開催、健康チェック、ふまねっと、歌声喫茶等5時間楽しく過ごして頂きました。
	【再開】シニア提言の集い開催	アクティブシニアの皆さんがお互いに刺激し合って活力ある生活を創造するための提言を募集して、発表する集いを開催します。	助成金が通らず、断念しました。

◆仲間づくり・居場所づくり

事業名		事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目		
高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	サークルの取組の改善及び後継者問題に取り組む	サークルの数を増やすよう働きかけます。また、サークルの代表の後継者の課題に取り組めます。	新サークル5件(老いを、シニア運動、健康麻雀、シニア囲碁、生涯元気)、廃部9件(盆踊り、ボーリング、酒と語り場、茶話会、初級川柳、シングル、黄昏勉強会、元気で100歳、老いを)で、現在は25サークルです。廃部の理由は代表者の健康不良5、会員集まらず4です。
	サークル立ち上げ相談に対応します	新規サークル立ち上げに向けて事務局が積極的に対応します。	立ち上げ希望者には積極的にアドバイスや協力をしています。
	推進会議の定期開催と事務局との連携	サークル活動の活性化に向けサークルリーダーを集めた推進会議を定期的で開催します。	毎月エルプラザ大研修室にて開催。連絡事項、祭り、赤い羽根等打合せ、開催後は反省会もしました。5月事務局長、6月理事長、7月と12月副理事長、1月は理事長出席し年度方針等話しました。

高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	【再開】シーズネット祭り開催	3年間、コロナ禍で開催していませんでしたが、今年は開催を予定します。サークル活動内容を市民に公開し、豊かなシニアの在り方等の多様な活動を周知します。	9月14日、4年振りに開催。思い切って趣向を変え、会場をフラットにして各サークルをブース式にし参加者がお喋り出来るようにしました。ステージでの3サークルの発表、シーズネットの活動ビデオ上映、10サークル代表者へのインタビュー、うたごえ便よりみち、シニアバンドの演奏など。あいにくの雨とコロナの増加もありましたが、176名(会員148名一般28名)の参加となりました。
	地域交流サロンこのはなの活動の充実	地域交流サロンこのはなの活動の活性化を図り、地域コミュニティとしての役割を担います。	週3回の開催、延べ利用者は1453人でした。一日平均10.3人の利用となりました。交流サロンの性格からカルチャーセンタ化が顕著になったように感じます。
	「WEBでサロン」の継続	引き続き「WEBでサロン」を月3～4回開催します。	”歌声”や脳活塾など38回開催し、WEB参加417名、会場での参加は42名でした。
	もみじ台管理センター運営協力	住民の地域支え合い事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します。(日興美装工業(株)受託事業)	毎月WEBでのセンター定例打合せ会議に参加するなど、もみじ台地区の地域コミュニティ促進事業に継続的に協力しました。
	他サロンと協働で活動をアピールする	他サロンとの交流を深め、協働して活動を発表する場を創ります。(地域ささえ愛サミット2023等を活用)	豊平区社会福祉協議会のサロン会議に参加し、活動内容の実施状況や日頃の問題点の意見交換しました。地域ささえ愛サミットでは3サロンとの交流をしました。
	札幌市保養センター駒岡の文化講座支援	保養センター駒岡で開催する文化講座の支援として、初心者麻雀講座に指導者を派遣して協力します。(保養センター駒岡委嘱事業)	午前、午後と5卓ずつで開催、講師1名、スタッフ2名の体制で月4回(毎週水曜日)実施し延べ1900余名の参加がありました。

◆役割づくり

事業名		事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目		
高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等事業	北海道及び札幌市の高齢者向け住宅に関する登録等業務を受託	①サービス付き高齢者向け住宅の登録事業(北海道・札幌市)受託。 ②有料老人ホーム届出受理事業(札幌市)受託。 委託者の定める処理要領に則って堅実な業務を行います。	①サ高住登録件数は、北海道:新規3件・更新36件、札幌市:新規7件・更新38件。 ②有料老人ホーム設置届受理件数は36件。 両事業とも事務処理要領に則り確実な業務処理を行いました。
	あんしん住まいサポロとの連携	姉妹法人である「あんしん住まいサポロ」と連携して情報誌の発行・販売の活動に協力します。	法人代表に住まいのセミナーで講師を担っていただきました。また情報誌を3月末に発行し、販売に協力しています。
高齢者の認知機能低下予防のための研究等事業	脳活塾の開講	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡大を図ります。	月曜日の2コマ、水曜日1コマ、1コマ10人～12人の利用がありました。
	脳活塾の普及	脳活塾のブックレット作成します。マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及を図ります。	「脳活の種」を発刊。シーズネット通信やSNSなどにより脳活塾の活動を紹介しました。
	各地の脳活活動に協力	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協力します。	札幌市内市外において6件の出前脳活講座の依頼がありました
	シーズネット版ボランティアポイント制度の普及	①会員向けにボランティア活動の研修会を実施します。 ②シーズネット版ボランティアポイント制度を継続します。 ③会員の特技や資格を把握してボランティア活動などに役立つ仕組みを作ります。	①5月30日総会終了後に会員研修会「アクティブシニアの社会貢献」～「社会貢献活動に関するアンケート2022」の報告も兼ねて～を開催し、奥田理事長が講演しました。 ②大通花壇・森林づくり、赤い羽根共同募金でボランティアポイントを付与しました。 ③仕組みの構築は未実施です。

異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	環境整備ボランティア事業	「大通花壇づくり」や「森林づくり事業」などに取り組む会員を募り、環境整備のボランティア事業を継続実施します。「森と緑の会」の助成金を活用します。	大通花壇 4月20日のパンジーの植え込みから毎週木曜日計28回延べ236名で活動、観光客や市民の皆様には喜ばれています。 森林づくり 6月の野幌森林公園下草刈りから5回延べ63名で活動しました。秋の活動がクマ出没で中止しました。
	中国帰国者支援事業	北海道社会福祉協議会から受託している「北海道中国帰国者支援事業」を継続実施します。	検温、消毒とコロナ感染に注意し、厚別もみじ台・手稲前田の2か所で月1回介護予防サロンを実施。合計24回、延362人が参加しました。
	【再開】ガレージセール実施協力	北大の留学生のためのガレージセールに引き続き協力します。	売り子となって協力するガレージセールが、3年8か月ぶりに再開し、春(今年は7月4日)には9人、秋(10月10日)には11人が参加しました。
	街頭募金活動の実施	赤い羽根共同募金の街頭募金活動を引き続き実施します。	前年の7区から、今年は市内10区での開催を目指し取り組みましたが、雨で2区出来ず8区で終わりました。来年再度挑戦したい。
	【新】つながりワーカー養成	地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材養成講座を開講します。(赤い羽根共同募金助成事業)	養成講座を3回開講し21名のつながりワーカーを養成。実践活動は2回実施し21名参加で、うちつながりワーカーは8名でした。
	【新】窓ふきボランティア	高齢者の自宅の窓ふきを支援する生活支援事業を行います。	個人宅30件。事業所7件。予定数を完了しました。
	【追】シーズネットマルシェの開催	近隣住民との交流を図り、北海道食の自給ネットワークの規格外有機野菜を販売します。	10月31日に実施。仕入れ食材は完売しました。100名ほどの来場者でした。
豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業	シニアの社会参加に向けた調査研究事業	シニアの社会参加やこれからの暮らしに関する調査研究事業に取り組みます。	学生団体まごのでの副代表が実施したシニアのボランティアに関するアンケートに協力しました。
福祉サービス第三者評価事業	評価活動の推進	福祉サービス第三者評価活動を継続実施します。	保育所2件、障害者施設1件の評価を終え、特養1件、障害者施設1件を評価中です。

◆その他目的に沿った事業

事業名		事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目		
その他、目的を達成するために必要な事業	シニア人生の多様なニーズの課題解決	シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組めます。	NPOサポートセンターと連携してアクティブシニアの推進事業に協力。全道10か所で開催しました。また、学生団体waccoに協力して、生活支援のコーディネートをしました。
	他団体との連携・協働	鉄西地区町内会、平岸地区町内会、在福ネット等の団体との連携・協働に努めます。	鉄西地区ではコミュニティネットワーク会議構成団体、平岸地区では平岸まちづくり協議会幹事として地域に密着した活動をしています。
	学生ボランティア	北大生ボランティア団体の「まごのて」「wacco」の支援を行い、多世代交流を深めます。	学生団体まごのてとwaccoに事務所スペースを提供しています。また、waccoの活動に事務所の機器使用で支援しています。
	地域生活支援推進協議会に参加	北区社会福祉協議会が推進する「地域生活支援推進協議会」に参加し、地域課題の解決に協力します。	協議会に構成メンバーとして参加しています。
	黄色いレシートキャンペーンに協力	「黄色いレシートキャンペーン」に登録し、ボランティア団体としての寄付を募ります。	毎月11日の「黄色いレシートの日」を通信で周知し事務所やサークル会場での収集に努め、ギフトカード50,900円の贈呈を受けました。

◆組織活動を活性化する運営計画

メイン項目	サブ項目	事業内容	実施結果
	積極的な情報開示	認定NPO法人として活動報告、計算書等をホームページ等で積極的に情報公開に努めます。	社員総会で承認された活動報告、活動計算書、財務諸表等は適正に公開しています。

理事長責務事項	担当分掌による業務遂行	組織運営体制に基づく担当分掌を決め適正に遂行します。	理事の役割分担、運営会議メンバーの分掌を整理して遂行しています。
	寄付金募金の促進	・社会貢献活動の積極的な実施とそのアピールを行います。 ・特定のボランティア活動への寄付を募ります。	・赤い羽根共同募金活動を札幌市内8区で実施しました。 ・野幌森林公園内で植樹活動をし、「シーズネットの森」看板設置で寄付を募りました。
運営会議	毎月、三役、理事、事業担当者で定例開催	毎月定例開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努めます。	業務理事及び事業担当責任者を定型メンバーとして、毎月1回開催しました。
	決定事項の適切な開示	決定した事項を通信等で会員に開示します。	運営会議について、開催内容を通信とホームページで周知しました。
会員支援	推進会議の定例開催	適正なサークル運営を実践するため定期的に開催します。	コロナに関しては自己責任として、エルプラザ大研修室にて、マスク着用、換気良くして毎月開催致しました。
	会員交流の場の実施	「シーズネット祭り」、「会員交流会」を実施します。	コロナで長く交流出来きなかつたので、シーズネット祭りでは会員同士がお喋りやコミュニケーション取れるように、新しい会場づくりをして会員からは評判良好でした。
	【再開】会員向けオンラインコミュニケーションの研修	これからのコミュニケーションツールとしてZoom等のオンラインコミュニケーション手段の研修会を行います。	学生団体waccoの主催するシニアのデジタルデバイドを克服するための教室の開催に協力し、4回実施しています。
支部活動支援	支部活動費支援	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給します。	3月末の会員数により支援金を支払いました
	支部代表者会議の実施	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設けます。	5月17日支部長会議を開催し、意見交換会と令和5年度の事業計画を共有しました。
広報活動	シーズネット通信の継続発行	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続します。	通信はみんなの協力で休むことなく毎月発行出来ました。会員全数の他、10区民センターや広報活動団体にも継続配布しております。
	ホームページ他SNSでの情報発信	ホームページ、SNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラム)を活用してシーズネットの活動を広く周知します。	インスタグラム、X(旧ツイッター)、フェイスブックを随時更新しています。フォロー数は現在31名で徐々に増加しています。
事務局体制	事務局管理体制の強化	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理を図ります。	定款及び会員規則等に基づき、適正な事務処理に努めました。
	会員の管理	個人情報保護を強化した会員管理の在り方を検討します。個人情報保護に関する研修会を開催します。	個人情報保護に関する研修会を開催し、入退会情報など会員管理の適正化に努めました。
	事務局体制の充実	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実を図ります。	事務局業務を担うボランティアを募集し業務を遂行しています。
	認定NPO法人の継続認証	条例指定によらない継続認証に向け事務作業の整備を図ります。	絶対的基準(3,000円以上の寄付者が年平均100人以上)による認定を申請し、令和6年2月13日付で札幌市の認定を受けました。

3. その他の事業

メイン項目	サブ項目	事業内容	実施結果
その他の事業	物品の斡旋及び販売	今年度は特に計画していません。	実施実績はありません。
	役務の提供	今年度は特に計画していません。	実施実績はありません。

1. 会員の組織状況(令和6年3月31日)

(資料-1)

(1) 会員数

区 分		令和5年度末 ①	令和4年度末 ②	増減(①-②)	備 考
会 員 総 数		660名	622名	38名	
正 会 員	個人	70名	118名	▲ 48名	
賛助会員	個人	579名	492名	87名	
	団体	11団体	12団体	▲ 1団体	

(2) 男女別会員数及び平均年齢(会員総数)

区 分	令和5年度末 ①	令和4年度末 ②	増減(①-②)	備 考
男 性	177名	186名	▲ 9名	年齢性別判明者
女 性	448名	409名	39名	〃
平均年齢	76.6歳	75.6歳	—	〃

(3) 地域別会員数(会員総数)

区 分	令和5年度末 ①	令和4年度末 ②	増減(①-②)	備 考
札 幌	455名	447名	8名	
旭 川	154名	124名	30名	
函 館	51名	51名	± 0名	

2. 役員名簿(令和6年3月31日現在)

役 職	氏 名
理 事 長	奥 田 龍 人
統括副理事長	千 秋 憲 博
理 事	山 根 勝 利
理 事	青 木 基 成
理 事	笠 谷 明 司
理 事	大 島 康 雄
理 事	山 本 純 子
理 事	細 田 高
理 事	小野寺 さゆみ
理 事	神 内 秀 之 介
理 事	田 中 美 智 子
監 事	守 屋 泰 典
監 事	小 野 忍

令和5(2023)年度決算報告

(第2号議案-1)

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,944,563		
未収金	4,308,562		
前払金	92,770		
仮払金	110,640		
貯蔵品	0		
流動資産合計		12,456,535	
2. 固定資産			
構築物	394,625		
什器備品	1		
電話加入権	15,000		
出資金	30,000		
固定資産合計		439,626	
資産合計			12,896,161
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,640,080		
未払消費税等	552,300		
預り金	148,920		
前受金	15,000		
流動負債合計		2,356,300	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,356,300
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		10,729,789	
当期正味財産増減額		-189,928	
正味財産合計			10,539,861
負債及び正味財産合計			12,896,161

その他の事業は実施していません。

令和5(2023)年度決算報告

特定非営利活動法人シーズネット

(第2号議案-2)

財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		7,944,563
自主運営事業手持ち現金	642,963	
助成受注事業手持ち現金	44,008	
北海道銀行札幌駅前支店	3,554,173	
北洋銀行北7条支店	1,599,137	
ゆうちょ銀行	2,104,282	
未収金		4,308,562
北海道建築指導課(サ付登録)	497,332	
札幌市(サ付登録・有老届出)	3,539,250	
日興美装工業㈱	156,420	
北海道ケアマネジメントセンター他	115,560	
前払金		92,770
会議室料、賃料	92,770	
仮払金		110,640
サークル傷害等保険料 他	110,640	
流動資産合計		12,456,535
2. 固定資産		
構築物・什器備品	394,626	
電話加入権	15,000	
出資金	30,000	
固定資産合計		439,626
資産合計		12,896,161
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		1,640,080
3月分給与等 4/15払	1,094,684	
各種費用未払額(消耗品、通信費他)	346,876	
事務局・このはな・駒岡活動費	198,520	
未払消費税等	552,300	552,300
預り金		148,920
源泉税・住民税・社会保険預り金	148,920	
前受金		15,000
受講料等翌年度分前受	15,000	
流動負債合計		2,356,300
2. 固定負債		0
負債合計	0	2,356,300
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		10,729,789
当期正味財産増減額		-189,928
正味財産合計		10,539,861

その他の事業は実施しておりません。

令和5(2023)年度決算報告

(第2号議案-3)

活動計算書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 正会員会費収入	340,000		
2. 賛助会員会費収入	1,891,000		
3. 活動参加収入	1,799,923		
4. 寄附金収入	2,850,921		
5. 助成事業収入	6,509,600		
6. 自主受注事業収入	12,030,096		
7. 雑収入	1,822,656		
経常収益計			27,244,196
II 経常費用			
1. 事業費		20,312,878	
(1) 人件費計		12,347,908	
人件費	11,256,463		
厚生費	1,091,445		
(2) その他経費		7,964,970	
賃借料(家賃を含む)	1,661,351		
消耗品費	396,976		
水道光熱費	195,478		
旅費交通費	884,779		
租税公課	792,605		
諸謝金	1,702,502		
通信費	337,082		
印刷費/広告	126,356		
委託費/支払報酬	660,055		
その他の経費	1,207,786		
2. 管理費		7,121,246	
(1) 人件費		0	
人件費計	0		
(2) その他経費		7,121,246	
賃借料(家賃を含む)	1,752,515		
消耗品費	643,531		
水道光熱費	266,297		
旅費交通費	1,852,688		
租税公課	800		
保険料	11,700		
通信費	973,942		
委託費/支払報酬	311,453		
その他の経費	1,308,320		
経常費用計			27,434,124
当期正味財産増減額			-189,928
前期繰越正味財産額			10,729,789
次期繰越正味財産額			10,539,861

その他の事業は実施していません。

財務諸表の注記

(第2号議案-4)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準(2010年7月20日NP0法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業別経常費用の内訳

(単位：円)

	シーズネット 合計	①管理部門	②事業部門	事業部門の内訳		
				③自主運営	④受注受託	⑤諸口
経常費用	27,434,124	7,121,246	20,312,878	4,129,337	16,183,541	0
人件費	12,347,908	0	12,347,908	225,915	12,121,993	0
給料手当	9,859,350	0	9,859,350	0	9,859,350	0
法定福利費	1,397,113	0	1,397,113	16,717	1,380,396	0
厚生費	1,091,445	0	1,091,445	209,198	882,247	0
その他経費	15,086,216	7,121,246	7,964,970	3,903,422	4,061,548	0
会場費	351,218	0	351,218	297,187	54,031	0
荷造運賃	5,528	600	4,928	3,055	1,873	0
賃借料	1,980,142	1,143,805	836,337	282,555	553,782	0
消耗品費	1,040,507	643,531	396,976	371,720	25,256	0
水道光熱費	461,775	266,297	195,478	31,822	163,656	0
旅費交通費	2,731,939	1,852,088	879,851	695,616	184,235	0
手数料	139,906	47,476	92,430	2,300	90,130	0
租税公課	793,405	800	792,605	483,705	308,900	0
諸謝金	2,044,488	341,986	1,702,502	250,702	1,451,800	0
保険料	183,030	11,700	171,330	171,330	0	0
通信費	1,311,024	973,942	337,082	93,156	243,926	0
諸会費	37,000	31,000	6,000	6,000	0	0
新聞図書費	404,086	42,736	361,350	361,350	0	0
印刷費/宣伝費	389,586	263,230	126,356	60,110	66,246	0
支払報酬	487,012	140,080	346,932	0	346,932	0
支払家賃	1,082,506	608,710	473,796	253,428	220,368	0
備品購入費	234,596	148,195	86,401	86,401	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0
委託費	484,496	171,373	313,123	0	313,123	0
雑費	908,591	418,316	490,275	452,985	37,290	0
償却費	15,381	15,381	0	0	0	0

3. 固定資産の取得

野幌森林公園内「シーズネットの森」に看板(構築物)を設置、取得価格410,000円(税抜)は、「森への寄付金」を充当しました。

4. その他

その他の事業は実施しておりません。

監査報告書

令和6年5月9日

特定非営利活動法人シーズネット

理事長 奥田 龍人 様

監事 小野 心 

監事 守屋 泰典 

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）の特定非営利活動法人シーズネットの業務及び財産の状況と事業報告書及び決算報告書類（貸借対照表、財産目録及び活動計算書）について監査を実施いたしました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、事業報告書及び関連する書類を閲覧、質問等を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照会、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人シーズネットの令和6年3月31日をもって終了する事業年度の事業執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

令和6(2024)年度事業計画書(案)

※【新】は新規事業

1. 理念・方針

理 念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を目指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する。
方 針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動強化等を重点的に取り組む。

2. 特定非営利活動に係る事業（「定款に定めた事業」の○数字は定款第5条（1）による）

◆理念を啓発する活動

事 業 名	事業内容	
定款に定めた事業	サブ項目	
①法人の目的に沿った各種の講演会、講習会、研究会等の開催事業	知恵袋講座の充実	今年度も毎月開催します。できるだけ会員が講師を引き受ける講座を増やして行きます。
	住まいの情報セミナーの開催	住まいの情報セミナーを、年4回引き続き開催します。(札幌市住宅管理公社受託事業)
	シニアの暮らしアドバイス講座の開催	講座をシリーズで行い、介護保険、住まいなどの勉強会を開催します。
	市民公開講座の開催	シーズネットの理念の啓発・浸透を目指す講座を年1回程度開設します。
	地域ささえ愛サミット2024への協力	北海道住宅管理公社主催の公的住宅等の共通の課題である孤立防止に向けてのサロン発表や展示等の運営に協力します。

◆仲間づくり・居場所づくり

事 業 名	事業内容	
定款に定めた事業	サブ項目	
②高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	サークル数の増加及び後継者問題への取組	サークルの数を増やすよう働きかけます。また、サークルの代表の後継者の課題に取り組みます。
	サークル立ち上げ相談への対応	新規サークル立ち上げに向けて事務局が積極的に対応します。
	推進会議の定期的開催	サークル活動の活性化に向けサークルリーダーを集めた推進会議を定期的開催します。
	シーズネット祭り開催	昨年に続き、今年も開催します。サークル活動内容を市民に公開し、豊かなシニアの在り方等の多様な活動を周知します。
	地域交流サロンこのはなの活動の充実	地域交流サロンこのはなの活動の活性化を図り、地域コミュニティとしての役割を担います。
	もみじ台管理センターの運営に協力	住民の地域支え合い事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します。(日興美装工業㈱受託事業)
	他サロンとの協働	他サロンとの交流を深め、協働して活動を発表する場を創ります。(地域ささえ愛サミット2024等を活用)
札幌市保養センター駒岡の文化講座の支援	保養センター駒岡で開催する文化講座の支援として、初心者麻雀講座に指導者を派遣して協力します。(保養センター駒岡委嘱事業)	

◆役割づくり・支え合い

事業名		事業内容
定款に定めた事業	サブ項目	
③高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等の事業	北海道及び札幌市の高齢者向け住宅に関する登録等業務の継続	①サービス付き高齢者向け住宅の登録事業(北海道・札幌市)受託。②有料老人ホーム届出受理事業(札幌市)受託。これらの事業について、業務体制を整備し、堅実に運営します。
	あんしん住まいサッポロとの連携	姉妹法人である「あんしん住まいサッポロ」と連携して情報誌の発刊・販売の活動に協力します。
④高齢者の認知機能低下予防のための研究等の事業	脳活塾の開講	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡大を図ります。
	脳活塾の普及	マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及を図ります。
	各地の脳活活動に協力	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協力します。
⑤異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	シーズネット版ボランティアポイント制度の普及	①会員向けにボランティア活動の研修会を実施します。②シーズネット版ボランティアポイント制度を継続します。③会員の特技や資格を把握してボランティア活動などに役立てる仕組みを作ります。
	大通公園花壇整備事業への協力	大通公園花壇づくりに取り組む会員を募り、環境整備のボランティア事業を継続実施します。
	緑化推進事業	野幌森林公園などの森林再生事業を継続実施します。「森と緑の会」の助成金を活用します。
	中国帰国者支援事業	北海道社会福祉協議会から受託している「北海道中国帰国者支援事業」を継続実施します。
	北大留学生のためのガレージセール実施協力	北大の留学生のためのガレージセールに引き続き協力します。
	街頭募金活動の実施	赤い羽根共同募金の街頭募金活動を引き続き実施します。
	【新】シーズネットマルシェの開催	北海道食の自給ネットワークの規格外の有機野菜を販売し、近隣住民との交流を図ります。
⑨福祉サービス第三者評価事業	評価活動の推進	福祉サービス第三者評価活動を継続実施します。

◆その他目的に沿った事業

事業名		事業内容
定款に定めた事業	サブ項目	
⑩その他、目的を達成するために必要な事業	シニア人生の多様なニーズの課題解決	シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組みます。
	他団体との連携・協働	鉄西地区町内会、平岸地区町内会等の団体との連携・協働に努めます。
	学生ボランティア支援	北大生ボランティア団体の「まごのて」「wacco」の支援を行い、多世代交流を深めます。
	地域生活支援推進協議会に参加	北区社会福祉協議会が主宰する「地域生活支援推進協議会」に参加し、地域課題の解決に協力します。
	黄色いレシートキャンペーンに協力	「黄色いレシートキャンペーン」に登録し、ボランティア団体としての寄付を募ります。

※追記:定款第5条(1)に定めた次の事業については今年度の実施計画はありません。

- ⑥豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業
- ⑦介護保険法に基づく指定居宅サービス事業
- ⑧介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業および地域支援事業
- ⑩介護職員初任者研修の開催

3. その他の事業（「定款に定めた事業」の○数字は定款第5条（2）による）

定款に定めた事業	サブ項目	事業内容
①物品の斡旋及び販売	物品の斡旋・販売等	今年度は特に計画しておりません。
② 役務の提供	役務の提供	今年度は特に計画しておりません。

4. 組織活動を活性化する運営計画

組織活動	サブ項目	事業内容
理事長責務事項	積極的な情報開示	認定NPO法人として活動報告、計算書等をホームページ等で積極的に情報公開に努めます。
	担当分掌による業務遂行	組織運営体制に基づく担当分掌を決め適正に遂行します。
	寄付金募金の促進	社会貢献活動の積極的な実施とそのアピールを行います。また、特定のボランティア活動への寄付を募ります。
運営会議	毎月、三役、理事、事業担当者で定例開催	毎月定例開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努めます。
	決定事項の適切な開示	決定した事項を通信等で会員に開示します。
会員支援	推進会議の定例開催	適正なサークル運営を実践するため定期的に開催します。
	会員交流の場の実施	「シーズネット祭り」、「会員交流会」を実施します。
	会員向けデジタルツールの研修	これからのコミュニケーションツールとしてスマホ教室などを学生団体と開催します。
支部活動支援	支部活動費支援	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給します。
	支援部代表者会議の実施	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設けます。
広報活動	シーズネット通信の継続発行	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続します。
	ホームページ他SNSでの情報発信	ホームページ、SNS(フェースブック、X、インスタグラム)を活用してシーズネットの活動を広く周知します。
事務局体制	事務局管理体制の強化	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理を図ります。
	会員の管理	個人情報保護を強化した会員管理の在り方を検討します。また、個人情報保護のための担当者研修会を行います。
	事務局体制の充実	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実を図ります。

(第5号議案)

令和6(2024)年度活動予算書(案)

(令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日)

(単位:円)

金		額	
I 経常収益			
1. 正会員会費収入	360,000		
2. 賛助会員会費	1,900,000		
3. 活動参加収入	1,850,000		
4. 寄付金収入	1,640,000		
5. 受託事業収入(固定)	12,650,000		
6. 受託事業収入(変動)	2,950,000		
7. 自主事業収入	3,800,000		
8. 事務協力費	700,000		
9. 雑収入	100,000		
経常収益計			25,950,000
II 経常費用			
1. 事業費		19,614,000	
(1) 人件費計		9,969,000	
人件費	8,984,000		
厚生費	985,000		
(2) その他経費計		9,645,000	
賃借料(家賃を含む)	1,251,000		
消耗品費	421,000		
水道光熱費	205,000		
旅費交通費	895,000		
租税公課	816,000		
保険料	173,000		
諸謝金	1,680,000		
通信費	355,000		
印刷費	135,000		
委託費	655,000		
その他の経費	3,059,000		
2. 管理費		6,276,800	
(1) 人件費		0	
人件費計		0	
(2) その他経費		6,276,800	
賃借料(家賃を含む)	1,250,000		
消耗品費	650,000		
水道光熱費	270,000		
旅費交通費	1,700,000		
租税公課	800		
保険料	12,000		
諸謝金	350,000		
通信費	1,000,000		
印刷費	270,000		
委託費	320,000		
その他の経費	454,000		
経常費用計			25,890,800
当期正味財産増減額			59,200
前期繰越正味財産額			10,539,861
次期繰越正味財産額			10,599,061